

Lesson 3

A. 現在形

1. I love you. 私はあなたを愛しています。 >現在の状態：状態動詞を用いる。
2. I usually eat bread for breakfast. 私はたいてい朝食にパンを食べる。>現在の習慣的・反復的動作：動作動詞を用いる。
3. The sun rises in the east. 太陽は東から昇る。 >変わることのない事実

動作動詞と状態動詞

英語には、具体的な行為を表す「動作動詞」と、ありさまを表す「状態動詞」があります。

状態動詞は原則として進行形にはなりません。

「love」は「～を愛している」という意味で、これは過去から現在を経て未来まで続いている気持ちを説明しています。このように同じ状況が続くことを説明する動詞を「状態動詞」と言います。

「eat」は「～を食べる」という意味で、これは1回のまとまった動作を表しています。このような動詞を「動作動詞」と言います。「愛している」と違って、「食べる」という動作が同じ状況のまま続くことは基本的に考えられません。一度食べるとその動作はやり終えることになります。そのため動作動詞を現在形で使うと、くり返し行われる動作を表すことになります。

状態動詞は意味上、次の3つのグループに分けることができます。

1. 心理を表す動詞

like (好む) love (愛する) hate (嫌う) hope (望む) want (したいと思う) think (思う)
believe (信じる) know (知っている) understand (理解している) remember (覚えている)
forget (忘れている) 等

2. 知覚・感覚を表す動詞

see (見える) hear (聞こえる) feel (感じる) smell (においがする) taste (味がする) 等

注意 1) see / hear と look at / listen to

see や hear は自分の意志で見たり聞いたりするのではなく、自然に見えたり聞こえたりする状態を表す。

look at や listen to は自分の意思で行う動作を表す。

注意 2) 動作と状態の両方の意味を持つ動詞

The soup smells good. (そのスープはいいにおいがする。) (状態)

He is smelling the wine. (彼はワインの香りをかいだり) (動作)

3. その他の状態を表す動詞

be (～である) remain (～のままである) have (持っている) own (所有している)
belong to (～に所属している) contain (含んでいる) exist (存在する) resemble (似ている) 等

現在の反復動作を表す現在形

動作動詞の現在形は、「今」を中心にして過去から未来にわたってくり返される動作を表します。

2.の文は usually (たいてい、普通は) があることからわかるように、「今」だけのことを述べているわけではありません。パンを吃るのは今朝だけに限らず、昨日もそれ以前も行われ、さらに明日もそれ以後も行われるということを述べています。

この用法では次のような頻度を表す副詞（句）を伴うことが多いです。

always (いつも) usually (たいてい) often (しばしば、よく) sometimes (ときどき)

seldom/rarely (めったに～ない) every day (毎日) once a week (週に 1 回) 等

一般的な事実や真理を表す現在形

現在形は「今」を中心にして過去や未来にも成り立つ状態や動作を表すので、過去・現在・未来を通じて変化のない事実を表すことができます。

Water consists of hydrogen and oxygen. (水は水素と酸素から成る。)

B. 現在進行形

4. She is playing tennis now. 彼女は今、テニスをしている。 >(am / are / is + doing) 今行われている動作

現在形では、「今まさにしている」ことを表すことができません。なぜなら現在形は過去や未来を含んでいるからです。一方、現在進行形は今だけに注目しています。つまり、「(ふだんはどうしているかはともかく) 今この時は～している」という内容を表すことができます。

C. 過去形

5. I loved him. 私は彼を愛していた。 >過去の状態：状態動詞を用いる。

6. He played baseball last week. 彼は先週、野球をした。 >過去の 1 回の動作・出来事：動作動詞を用いる。

7. He usually played soccer after school. 彼はたいてい放課後にサッカーをした。 >過去の習慣的・反復的動作：動作動詞を用いる。

過去のある時期に存在した状態を表現する場合には、状態動詞の過去形を用います。

過去のあるときに 1 回行われた動作を表すことも、過去形の場合は可能です。

動作動詞の過去形は、過去にくり返し行われた動作を表すことができます。ここでは usually があることから、サッカーをすることが何度もくり返し行われたことが分かります。この場合、現在どうしているかについてはまったく触れていないことになります。

D. 過去進行形

8. She was playing tennis around 4 p.m. 彼女は午後 4 時ごろテニスをしていた。 >(was / were + doing) 過去のある時点で行われていた動作

過去進行形は、過去のある時についている最中だった動作を表します。したがって、過去のある時がいつだったのか文脈上明確になっていなければいけません。この文では around 4 p.m. が過去のある時にあたります。その時に進行中だったということです。

A <will + 動詞の原形>で未来を表す

1. I will be seventeen next month.

私は来月 17 歳になります。 単純未来：自然の成り行き→話し手や主語の意志とは関係なく、自然の成り行きで起こるであろうことを表す。

2. I will call tonight.

私は今夜、あなたに電話します。 意志未来：主語の意志→「～する、～するつもりだ」という主語の意志を表す。

B <be going to + 動詞の原形>で未来を表す

3. I'm going to go shopping tomorrow.

私は明日、買い物に行く予定です。 意図・計画：前から予定していること→話す前からすでにするつもりでいたことを表す。

4. Look at the sky. It's going to rain.

空を見て。雨が振りそうだ。 予測：状況から判断した近い未来の予測→「～だろう」という<推量>の意味を表す。

C 時や条件を表す副詞節の中で用いる現在形

when や if などの「時」や「条件」を表す接続詞を用いると、それに続く節の中では「実際に成り立つ」と考えられることを扱うことになる。未来のことであっても「実際にあること」と考えるので現在形で表す。

5. Please call me when you arrive at the hotel.

ホテルに着いたら電話をください。 時を表す when 「～する時」 節の中は現在形を用いる。

6. If it rains tomorrow, we will stay home.

もし明日、雨が降れば、私達は家にいます。 条件を表す if 「もし～すれば」 節の中は現在形を用いる。

D 現在形・現在進行形で未来を表す

7. The plane leaves for New York at 12:30.

その飛行機は 12 時 30 分にニューヨークに向けて出発する。

「今」の時点では既に確定しており、変更の可能性がないという意味合いが含まれる。つまり、時刻表や予定表などで確定しているようなことに使われる。

8. I'm leaving for Los Angeles tomorrow.

私は明日、ロサンゼルスに向けて出発する。

未来の行動に向けて、今、心構えをしていたり、具体的な準備をしているという内容が含まれる。ここでは既に旅行の手配をして、荷物をまとめ、まさに「ロサンゼルスに向けて出発する」という動作が着々と進行している状況を考えることができる。